



利用マニュアル

操作編（管理者ユーザ詳細）[データ転送ツール]

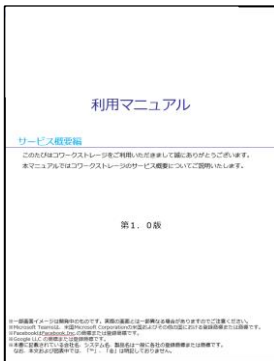
このたびは本サービスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。
本マニュアルでは、データ転送ツールに関する操作を説明いたします。

第1．0版

※一部画面イメージは開発中のものです。実際の画面とは一部異なる場合がありますのでご注意ください。
※本書に記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、本文および図表中では、「™」、「®」は明記しておりません。

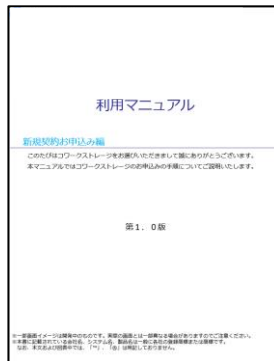
利用マニュアルについて

①：サービス概要



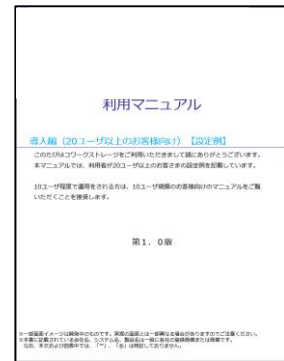
本サービスの
サービスの概要や特長を説明

②：新規契約お申込み編



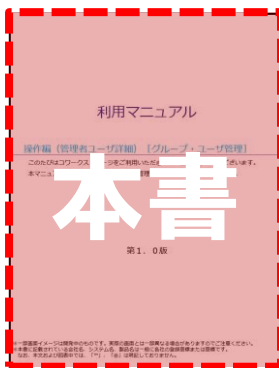
本サービスの
新規お申込み方法を説明

③：導入編【設定例】



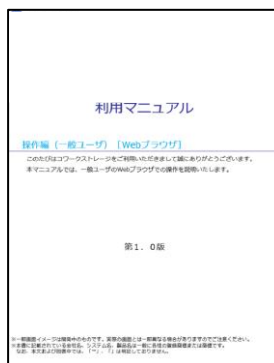
本サービスの初期設定を設定例
から説明

④：操作編 (管理者ユーザ詳細)



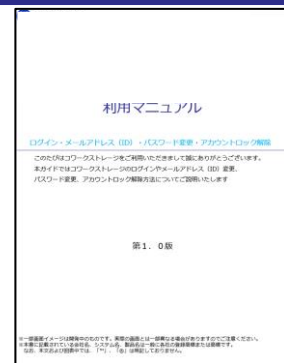
管理者権限を持つ利用者様向けの
操作説明

⑤：操作編 (一般ユーザ詳細)



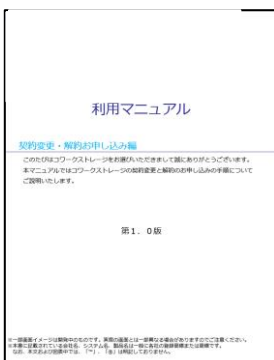
ユーザ向けの操作説明

⑥：ログイン・メールアドレス、 パスワード変更、 アカウントロック解除編



本サービスへのログイン、メー
ルアドレス・パスワード変更、
アカウントロック解除の操作説
明

⑦：契約変更・解約申込編



ご契約情報確認方法や
変更について説明

改版履歴

版	年月	改訂内容	改訂箇所
1.0版	2021年4月	初版作成	

目次

1. 提供条件	4
2. 制限事項	5
3. データ転送に関連のある本サービスの仕様	6
4. データ転送ツールの利用手順	7
5. 転送結果の確認	20

1 提供条件

データ転送ツールをご利用の場合の提供条件は以下の通りです。

■ OS

以下のバージョンのOSが動作すること

OS	バージョン
Windows	Windows 8.1
	Windows 10
	Windows Server 2012R2
	Windows Server 2016
	Windows Server 2019

※最新のWindows Updateが適用されていること

■ ハードウェア&ネットワーク

- ・ 空き容量：10GB以上
- ・ メモリ：8GB 以上（推奨）

■ ブラウザ

以下のブラウザが動作すること

<Windows>

- ・ **Microsoft Edge バージョン89 以降**
- ・ **FireFox バージョン86 以降**
- ・ **Google Chrome バージョン89 以降**

2 制限事項

制限事項	制限
対応できるファイル数	500万ファイルまで
スキップされるフォルダ	X:¥RECYCLER X:¥System Volume Information X:¥\$RECYCLE¥.BIN ※ “X”はデータ転送元のドライブレター
スキップされるファイル	desktop.ini thumbs.db .DS_Store ~\$から始まるファイル(例：~\$sample.docx) ※大文字小文字は区別されません

3 データ転送に関連のある本サービスの仕様

データ転送に関連のある本サービスの仕様についてご案内いたします。

本サービスの仕様で、データ転送作業に関連する点は以下となります。

対象	仕様内容
フォルダ数	1フォルダに保存できるフォルダ数は 1,000サブフォルダまで
ファイル数	1フォルダに保存できるファイル数は 10,000ファイルまで
フォルダ階層	30階層まで
パス長	255文字まで
ファイルサイズ	1ファイルのファイルサイズは 10GBまで ※設定により変更可能

4 データ転送ツールの利用手順

データ転送の手順についてご案内いたします。

1. データ転送ツールをダウンロード設定
2. データ転送ツールのダウンロード
3. データ転送のツールの設定操作方法について解説します

データ転送ツールのダウンロード設定

1. 管理者が本サービスのWebにログインします。
2. 【ツール】 - 【管理コンソール】をクリックします。
3. 【編集を開始する】をクリックし、閲覧モードから編集モードへ変更します。

現在、**閲覧モード**です。設定の変更や編集を行いたい場合は、編集を有効にしてください。

編集を開始する

4. ユーザをクリックします。転送ツールをダウンロードさせたいユーザ欄の【詳細】をクリックします。



5. 【変更】ボタンをクリックします。「データ転送ツールの利用を許可する」にチェックをいれて、左上の「保存」ボタンをクリックします。



6. 「編集を終了する」ボタンをクリックし、編集モードから閲覧モードへ変更後、画面右上のxボタンをクリックし、管理コンソール画面を閉じます。

現在、**編集モード**です。変更や編集作業が完了したら、必ず右側の「編集を終了する」操作をしてください。

編集を終了する

4 データ転送ツールの利用手順

データ転送ツールのダウンロード

1. 前ページで設定したデータ転送ツールをダウンロードするユーザで本サービスのWebにログインします。
2. **【ツール】 - 【アプリケーション】** をクリックします。
※データ転送ツールのダウンロードページが表示されない場合は、再度前ページのユーザ設定状況を確認してください



3. アプリケーションをダウンロードします。



4. ダウンロードしたデータ転送ツールのzipを任意のフォルダに展開してください。

名前	更新日時	種類	サイズ
Programs	2021/03/30 13:48	ファイル フォルダ	
データ転送ツール.exe	2021/03/26 15:50	アプリケーション	224 KB

4 データ転送ツールの利用手順

データ転送ツールのダウンロード

5. 展開したフォルダの中にある“データ転送ツール.exe”を実行してください。
※セキュリティの警告が表示された場合は、「実行」や「はい」等を選択してください。

<input type="checkbox"/> 名前	更新日時	種類	サイズ
Programs	2021/03/30 13:48	ファイル フォルダー	
データ転送ツール.exe	2021/03/26 15:50	アプリケーション	224 KB

※セキュリティ警告画面の表示例



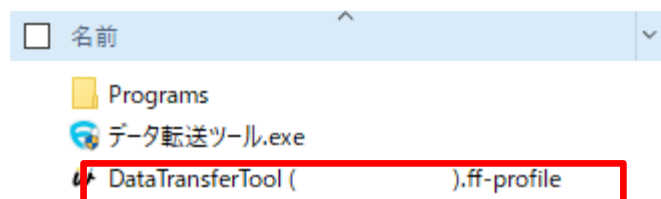
6. ブラウザが開き、データ転送ツールが表示されます。



7. 次に、本サービスのWebブラウザの画面に戻り、プロフィールを任意のフォルダにダウンロードしてください。



※例：データ転送ツールを展開したフォルダに
プロフィールをダウンロードした場合



4 データ転送ツールの利用手順

データ転送ツールのサーバ設定

1. **【新規作成】** ボタンをクリックしてください。設定画面が開きます

新しい移行タスクを作成するには「新規作成」を押してください。

新規作成

Fileforce Cloud 未設定 

エンドポイントURL			
アクセスキー			
シークレットキー			
プロキシサーバー	URL		
	ユーザー名		
	パスワード		
ユーザー名			
パスワード			

帯域幅 制限なし 

非稼働時間 

2. **【転送先クラウドストレージ】** の右にある編集ボタンをクリックします。

未設定 

3. プロファイルにある **【参照】** ボタンをクリックします。
前ページで任意の場所に保存したダウンロードしたプロファイルを選択して、**【開く】** をクリックします。


転送先クラウドストレージ

プロファイル				参照
プロキシサーバー	URL			
	ユーザー名			
	パスワード			
ユーザー名				
パスワード/認証コード				

データ転送ツール (1.0.348)

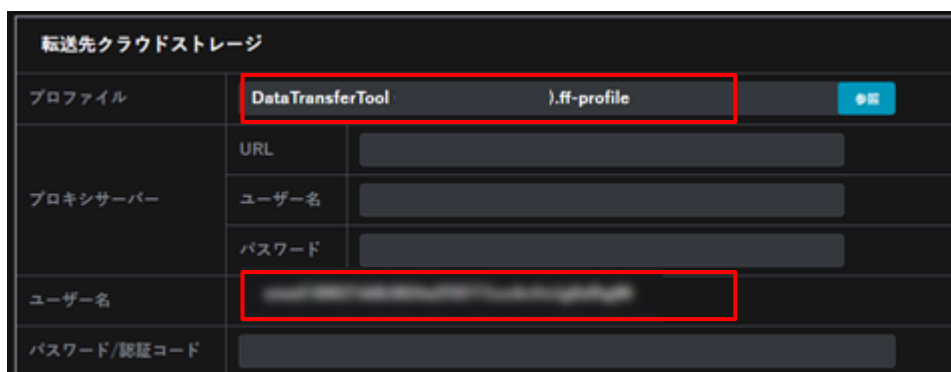
更新日時 権限 サイズ

Profile	更新日時	権限	サイズ
DataTransferTool	5分-profile	2021/09/30 13:35	Fileforce Drive Pro...

開く 

4 データ転送ツールの利用手順

4. 選択したプロファイルが適用されていることを確認してください。また、ユーザ名に文字列が記載されていることを確認してください。



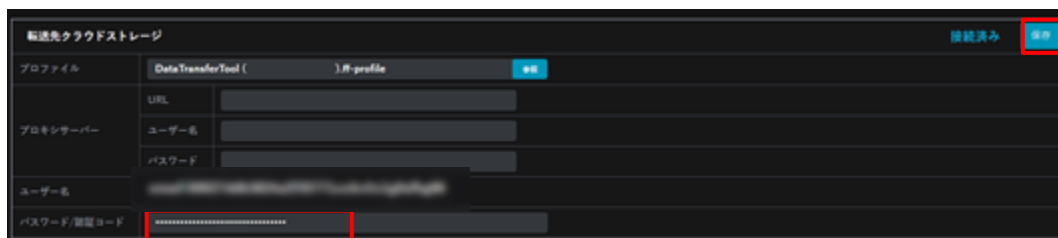
！ここに注意

ユーザ名の表示がご利用のメールアドレスではない値が表示されますが、正常です。

5. 本サービスのWebブラウザの画面に戻り、【**認証コードの取得**】ボタンをクリックし、表示された認証コードをコピーしてください。



6. 転送ツール画面の【**パスワード/認証コード欄**】にコピーしたコードを貼り付けます。右上の【**保存**】をクリックします。接続済みと表示されます。



4 データ転送ツールの利用手順

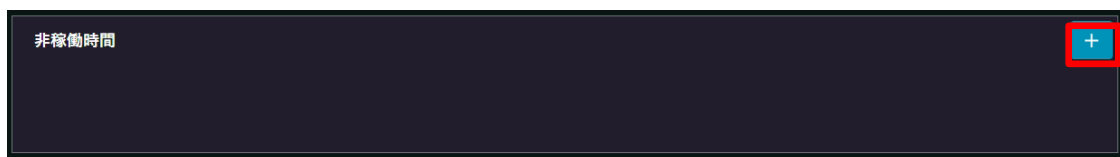
7. 【帯域幅】の右にある編集ボタンをクリックします。



8. データ転送において、任意の値を選択してください。
選択したら【保存】ボタンをクリックします。



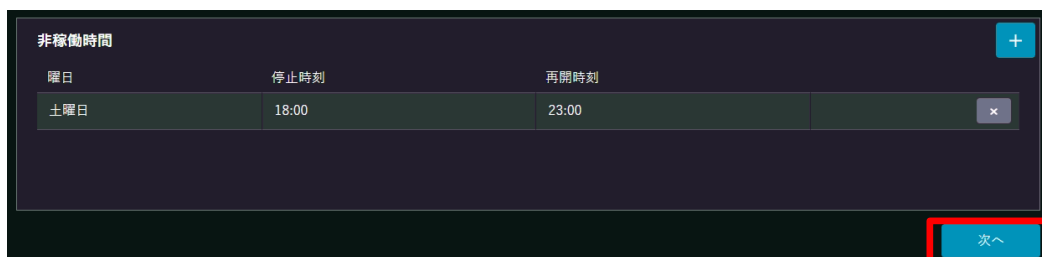
9. 【非稼働時間】の右にある追加ボタンをクリックします。



10. 必要に応じて、データ転送を行わない時間帯を指定します。設定する場合は【OK】をクリックします。



11. 入力した内容が一覧に表示されます。内容を確認して【次へ】ボタンをクリックします。ソース&ディスティネーション（クライアント設定）の画面に移動します。



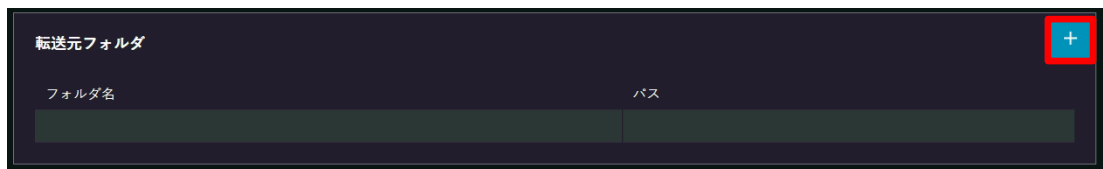
参考

次の段階に進めるようになるまで【次へ】ボタンは表示されません。

4 データ転送ツールの利用手順

データ転送ツールのクライアント設定

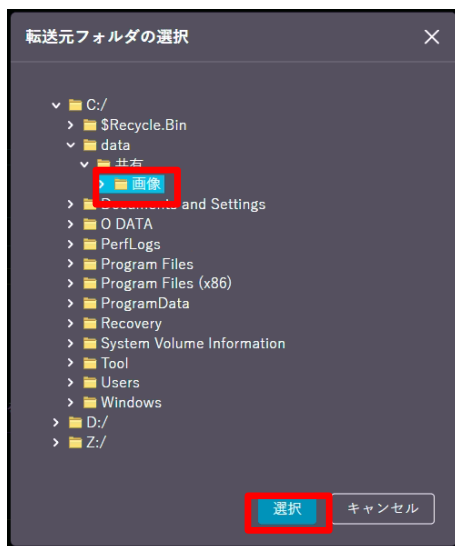
1. 転送元フォルダの右にある【追加】ボタンをクリックします。



！ ここに注意

ネットワークドライブをUNC形式で指定することはできません。事前にネットワークドライブを割り当て、それを指定するようにしてください。

2. 転送元フォルダを選び【選択】ボタンをクリックします。

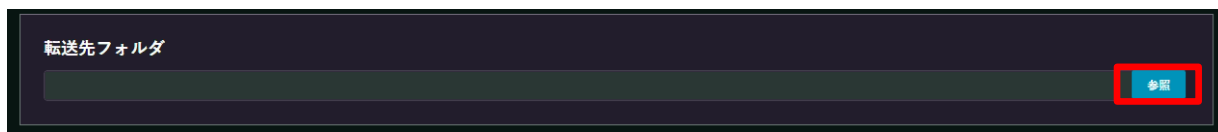


3. 選択したフォルダが一覧に表示されます。必要に応じてフォルダを追加で指定します。



4 データ転送ツールの利用手順

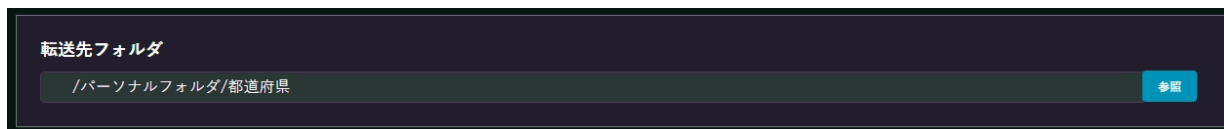
4. 【転送先フォルダ】の右にある【参照】ボタンをクリックします。



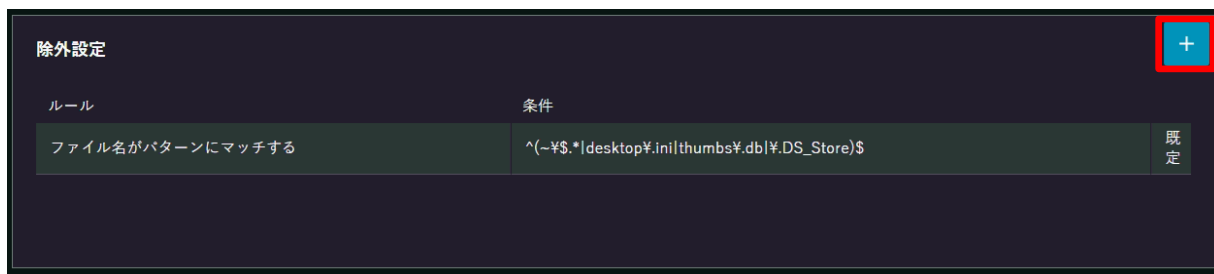
5. アクセスできる本サービスのフォルダの中から転送先となるフォルダを選択してクリックし、【選択】ボタンをクリックします。



6. 転送先が表示されます。



7. 転送したくないファイル・フォルダがある場合は、除外規定の右にある追加ボタンをクリックします。



！ ここに注意

仕様上転送できないファイルに関する除外規定が標準で登録されています。これについては削除、変更を行うことはできません。

4 データ転送ツールの利用手順

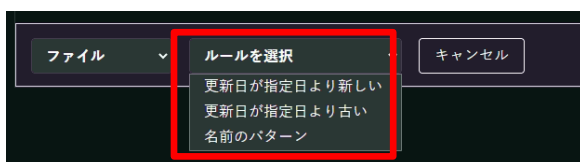
8. 除外する対象にファイルかフォルダを選びます。



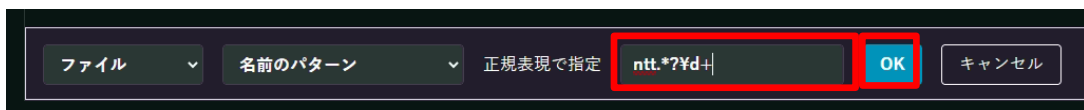
9. ルールを設定します。

除外する対象が【ファイル】の場合：

① ルールの種類を選択します



② ルールの内容を設定して【OK】ボタンをクリックします。



- ・日付を入力する場合：yyyy/mm/dd 形式で入力します
- ・名前のパターンの場合：正規表現を入力します。結果が真の時に除外されます。

！ここに注意

名前のパターンに入力するのはワイルドカードではありません。
"* .txt"と入力しても拡張子が"txt"であるファイルとは解釈されません。

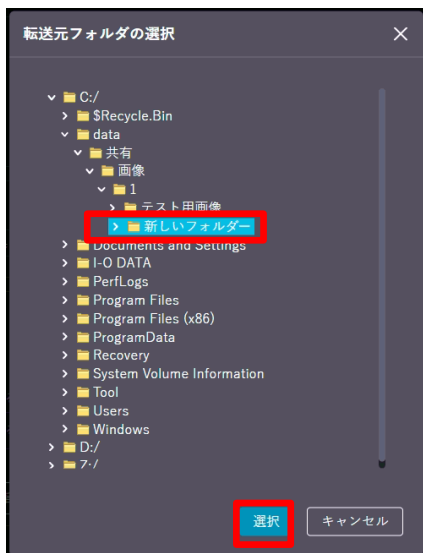
除外する対象が【フォルダ】の場合：

① 【パスの指定】ボタンをクリックします



4 データ転送ツールの利用手順

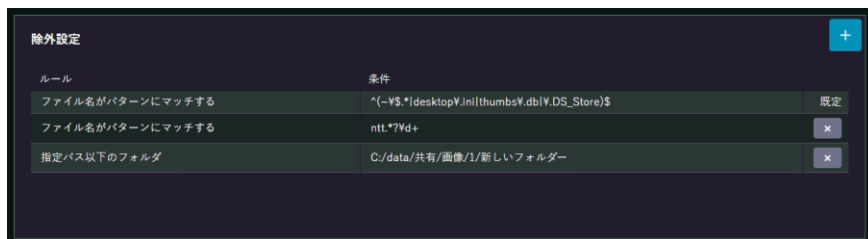
②除外するフォルダを選択してクリックし、【選択】ボタンをクリックします。



③除外するフォルダのフルパスが表示されます。【OK】をクリックします。



10. 追加した除外設定が表示されます。他にも除外設定があれば追加します。



11. 【次へ】をクリックします。



参考

次の段階に進めるようになるまで【次へ】ボタンは表示されません。

4 データ転送ツールの利用手順

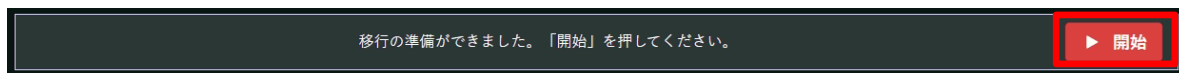
12. ダッシュボードの画面に戻ります。データ転送が開始可能な状態になっています。



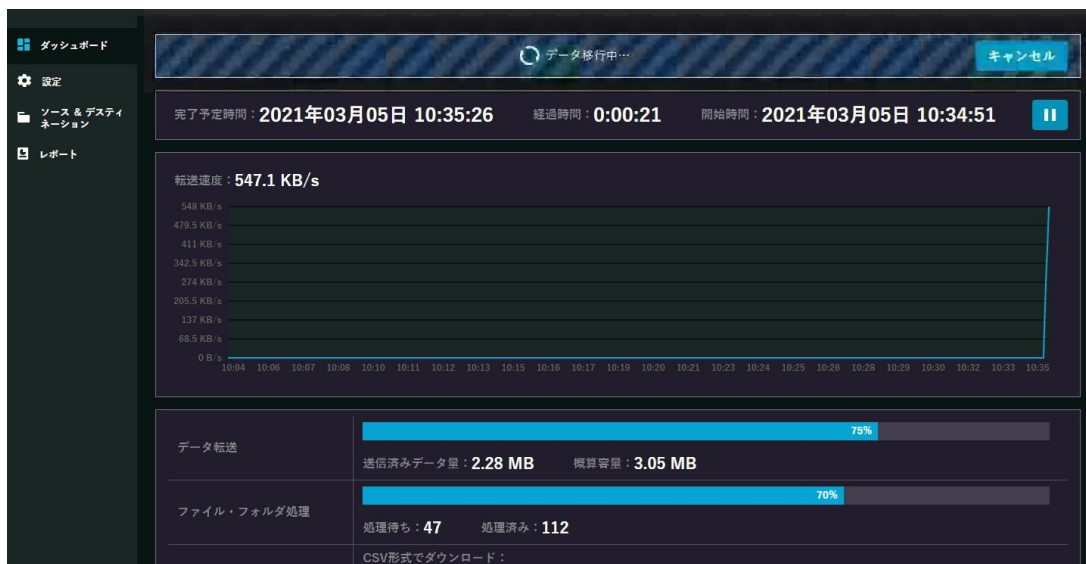
4 データ転送ツールの利用手順

データ転送実行

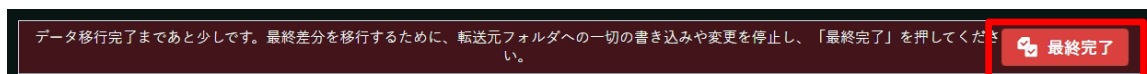
1. **【開始】** ボタンをクリックします。



2. 転送が始まります。処理が終わるまで待ちます。



3. しばらくすると、**【最終完了】** のボタンが表示されますのでクリックします。



！ ここに注意

これ以降、転送元フォルダ配下のファイル・フォルダの操作を行わないでください。データの整合性が取れなくなります。

4 データ転送ツールの利用手順

4. 「最終差分データ処理中」と表示されますので、しばらく待ちます。

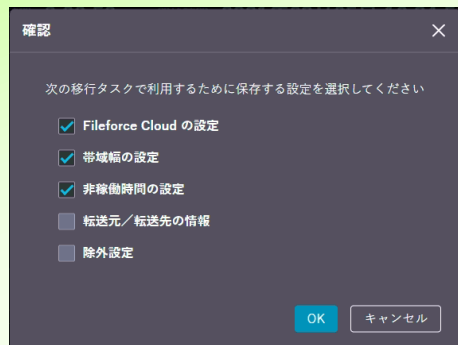


5. 「移行が完了しました」と表示されたら終了となります。



参考

データ転送完了後に【新規作成】ボタンをクリックすると、現在入力している内容を引き継ぐかどうかを確認するダイアログが表示されます。必要に応じてチェックをつけてから【OK】をクリックすると、次回のデータ転送の設定値入力を省略することができます。



5 転送結果の確認

1. レポートをクリックします。



2. これまでのデータ転送の処理結果が表示されます。より詳しい内容を確認するため、詳細レポートをクリックします。

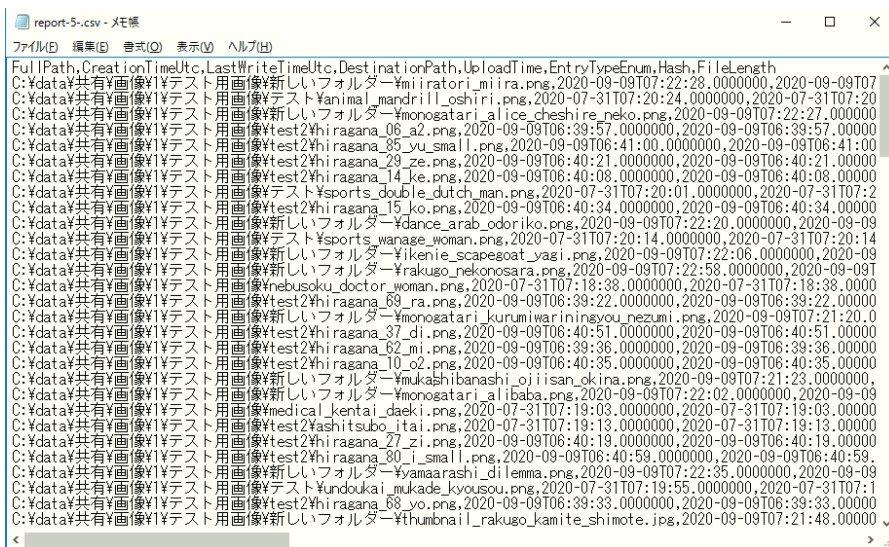
転送元	開始時間	完了時間	ファイル数	詳細レポート
C:/data/共有/画像	2021年03月05日 10:34:51	2021年03月05日 10:43:26	159	詳細レポート
C:/data	2021年02月25日 16:59:04	2021年02月25日 17:00:12	160	詳細レポート

3. より詳細な内容が表示されます。ファイルごとの処理状況を見るため、ログファイル (CSV)をクリックします。

転送元／転送先	C:/data => /パーソナルフォルダ/都道府県/data
開始時間	2021年02月25日 16:59:04
完了時間	2021年02月25日 17:00:12
ファイル数	160
総容量	3.05 MB (3196379 bytes)
エラーログ	errors-2-.csv
除外済みファイル／フォルダ	excluded-2-.csv
転送済みファイル／フォルダリスト	report-2-.csv

5 転送結果の確認

4. CSVファイルにファイルごとの処理結果が書かれています。必要に応じて解析してください。



Report-*-*.csv

転送に成功したファイルの一覧が出力されます。

Error-*-*.csv

転送ができなかった場合、その原因についての情報が出力されます。

Excluded-*-*.csv

転送を行わなかったファイルの一覧が表示されます。

- ・エラーのために転送されなかったファイル
- ・除外設定に該当したファイル